

無石綿

# NSベースモルタル

## 下地調整用プレミックスモルタル

NSベースモルタルは、硬質天然骨材を適正な粒度分布に調整配合し、抜群の作業性と優れた接着耐久性を有する下地調整塗材です。

### 特長

- NSハイフレックスHF-1000の混入により、ポリマーセメントモルタルとして接着耐久性に優れ、長期間高い接着力を保持します。
- 各種の仕上材の下地調整から露出仕上げまでの幅広い用途に使用できます。
- 硬質天然骨材の配合により、高い耐摩耗性を有します。

### 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
25kg/袋	内・外壁、 内・外床	コンクリート、 ブロック	タイル、石材、仕上塗材、 Pタイル、タイルカーペット、 塗床、各種防水材、 露出仕上げ*1	HF-1000*2 1.5kg 清水 約2.7ℓ	壁 3~10mm 床 3~15mm	約3m <sup>2</sup> (5mm厚)

注)\*1：露出仕上げ施工の場合は、モルタル特有のひび割れが発生する可能性がありますのでご注意ください。

注)\*2：NSハイフレックス HF-1000

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。  
水振りをしたのこて押えは、モルタルの表面強度を低下させる要因となりますので、NSハイフレックス HF-1000の3~4倍液を散布してください。

### 性能

試験項目	試験結果	JIS A 6916 CM-2の 品質基準	
軟度変化(%)	-2.6	±20	
耐ひび割れ性	ひび割れの発生なし	ひび割れがないこと	
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれなし	ひび割れ及びはがれがないこと	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	9.3	5.0以上	
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	34.1	10.0以上	
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	2.9	1.0以上
	低温養生	2.4	0.7以上
吸水量(g)	0.5	2以下	
透水量(mℓ/h)	0.1	0.5以下	
長さ変化(%)	0.08	0.15以下	
仕上材が複層仕上塗材の 場合の耐久性	外観	割れ・膨れ及びはがれなし	割れ・膨れ及びはがれがないこと
	付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	2.4	1.0以上
仕上材が陶磁器質タイルの場合の耐久性(N/mm <sup>2</sup> )	1.1	0.6以上	

※NSベースモルタルは、CM-2の物性を有しています。

(財)ベターリビング

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

■耐摩耗性試験結果 (数値が小さいほど摩耗しづらいことを表します。)

製品名	摩耗量(g)	試験方法
NS ベースモルタル	0.23	JIS A 1453 【建築材料及び建築構成部分の 摩耗試験方法(研磨紙法)】による
コンクリート	0.22	
けい砂モルタル(1:3)	20.0	

# 施工法

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

\*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

## 下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

\*吸水の激しい下地の場合、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

\*ブロック等下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

## 練混ぜ

NSベースモルタル25kgに対し、所定量のNSハイフレックスHF-1000を混入し適量の水を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等で十分に練り混ぜてください。

\*ドライアウトの原因となりますので、所定量のNSハイフレックスHF-1000を必ず混入してください。

\*タイル下地として使用する場合には、下地処理にNSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を塗布し、必ず所定量のNSハイフレックスHF-1000を混入してください。

\*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

## 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をおこなってください。

\*浮きや割れの原因となりますので、「ガリッ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。

\*1回の塗厚は、標準仕様の塗厚を厳守してください。

\*標準仕様の塗厚をこえる場合は、2回以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季3日以上、冬季7日以上としてください。ただし、全面塗りの場合は1回の塗厚を6mm以下としてください。

\*塗り継ぐ場合、下塗面は金ごて押えを避けてください。

\*JASS 15 左官工事の標準仕様に従って施工してください。塗厚が25mmをこえる場合はステンレスアンカーピンとステンレスラス等を併用してください。

## 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

\*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

\*初期の雨掛け等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

\*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後仕上げまでの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306228
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



### 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。